

# 木製ケース スタンドマイク(STM-2013FP)

～無線シャックに暖かみのある質感を～

## はじめに

本作品は当局が使用している自作QRP機と組み合わせて使用することを念頭に入れて製作した木製ケースのスタンドマイクです。本作品の製作にあたっては、**ケースに木材を使用して温かみのある質感を出す**ことを念頭におき、自作QRP機で運用する際に重要である良好な変調の確保、送受切換を相手に知らせること、交信時刻を容易に確認できる機能を持たせることを考えました。

ケースに木材を使用したAMラジオ等には独特の温かみのある質感がありますが、アマチュア無線の自作においては金属ケースを使用することが多く、木材ケースを使用した自作品が少ないことも、本作品の製作に至った理由です。名称は2013年に製作した木製(Forest Products)ケースのスタンドマイク(STand Microphone)という意味合いで、「**STM-2013FP**」としました。

## 本作品の特徴および概要

- (1) **外観を木製ケースとして暖かみのある質感を演出**。木材は北海道に自生するシナノキを使用してケースを作成。大きさはパネル面はハガキサイズで横150mm×縦100mm×高さ30mm(突起物除く)、重量は006Pニッケル水素電池込みで260g。
- (2) 内部にアクセスしやすい構造にして、電池交換やメンテナンスを容易にした。
- (3) 平均変調度を上げるためのマイクコンプレッサを内蔵。
- (4) 送受切換を相手に伝えやすくするためのスタンバイピーを内蔵。
- (5) 交信時刻を容易に確認できるようにするための小型のデジタル時計を装備。時計はJJYで時刻を自動校正する電波時計であり、面倒な時刻合わせが不要。

## 製作にあたって考えたことや工夫点

- 自作QRP機の交信をより楽しむことができる **温かみのある質感を得る**ことをめざしました。
- ケースは北海道に自生するシナノキのはがきサイズの板2枚を組み合わせる形で作成しました。
- マイクは木管と3D-2Vの同軸ケーブルを使用して作成しました。
- 内部にアクセスするためのねじはドライバーを使う必要のないものを採用して、電池交換やメンテナンスを行いやすい構造にするとともに、本作品の足を兼ねました。
- インターフェースであるスイッチは使用頻度や使い勝手を考慮し、大きさや形状を変えました。



本作品の外観

## 使用感など

木製の暖かみのある質感は独特のものがあり、無線シャックに彩りを与えてくれます。スタンドマイクの機能として、変調のかかり具合、スタンバイピーの音質・時間ともに良好であり、特にスタンバイピーは送信から受信に切り替わったことを相手に知らせる点で有効でした。また、時計は交信時刻を確認するのに大変便利であり、自動で校正をしてくれる点も使い勝手の向上に大きく役立っています。